

団体の部

- 優秀団体賞
▽水泳部(水球)
▽スピードスケート部
▽卓球部(女子)
▽馬術部
▽バドミントン部(女子)
▽バレーボール部
▽フェンシング部(女子)
▽アーチェリー部(男子)
▽アイススケート部
▽サッカークラブ部

- 王 凱(卓球)
高橋龍之介(東洋伝拳法)
村山 翠(バスケット)
福永 彩(バドミントン)
張真 龍(フェンシング)
谷口 琢弥(フェンシング)
滝澤 麻未(フェンシング)
魚住 彰吾(レスリング)
谷藤 広基(レスリング)
近藤 雅貴(レスリング)
荻原 幸希(レスリング)
原田 駿(レスリング)
雲田 真最(レスリング)
武田 光司(レスリング)
松尾 侑亮(レスリング)
高瀬 惇司(アイスホッケー)

- 見目 瑛(馬術)
二川 祥(バスケット)
高田 渚(バスケット)
矢上 若菜(バスケット)
柳瀬さつき(バスケット)
田口明佳莉(バスケット)
森 瑞希(バドミントン)
加藤 智香(バドミントン)
江川 颯一(フェンシング)
曾根 一葉(フェンシング)
飯田ひかり(レスリング)
武田 光司(レスリング)
松尾 侑亮(レスリング)
本木りずむ(ローラー)
・校友会学生奨励賞
小浦 和也(ゴルフ)
田添 健汰(卓球)
・特別賞(体育会OB会賞)
源平 貴久氏(サッカークラブ部監督)
南嶋 亮(体育会本部前委員長)
藤田 亮馬(同前委員長)
山田 亮馬(同前委員長)
岡部 恵士(アイスホッケー)

個人の部

- 優秀選手賞
高谷 陽子(スキー)
栗山 大貴(スキー)
石川謙太郎(スキー)
近藤 太郎(スピード)
土屋 良輔(スピード)
小川 翔也(スピード)
田添 健汰(卓球)
浦谷 夏未(バドミントン)
篠田 未来(バドミントン)
高橋 拓也(バレーボール)
藤中 謙也(バレーボール)
与那覇竜太(レスリング)
中村 倫也(レスリング)
・殊勲選手賞
遠藤 良祐(アーチェリー)

第54回体育会表彰 受賞者



殊勲選手賞代表の水泳部・服部

- 岡本 倫和(アメフト)
和田 優輝(アメフト)
岩元 洸(アメフト)
箭内 広大(アメフト)
赤池 剛志(剣道)
前澤 甲気(サッカー)
小口 大貴(サッカー)
佐藤 尊樹(サッカー)
大信 翼(準硬式野球)
高橋 陽一(準硬式野球)
東 勇渡(卓球)
劉 莉莎(卓球)
鈴木 李茄(卓球)
庄司 有貴(卓球)
堀 優美(卓球)
坂本 明香(テニス)
小林 有太(日本拳法)

- 井上 直樹(ローラー)
掃部関健太(ローラー)
北村祐香里(ローラー)
山崎 育慈(ローラー)
小野 一輝(ローラー)
服部 尚樹(アイスホッケー)
徳丸 春花(アイスホッケー)
笹目隆太郎(アイスホッケー)
本木りずむ(アイスホッケー)
・新人賞
織田真理子(アーチェリー)
高瀬 惇司(アイスホッケー)
服部 友香(水泳)
東 勇渡(卓球)
堀 優美(卓球)
田口明佳莉(バスケット)

殊勲選手賞代表の水泳部・服部

- 井上 直樹(ローラー)
掃部関健太(ローラー)
北村祐香里(ローラー)
山崎 育慈(ローラー)
小野 一輝(ローラー)
服部 尚樹(アイスホッケー)
徳丸 春花(アイスホッケー)
笹目隆太郎(アイスホッケー)
本木りずむ(アイスホッケー)
・新人賞
織田真理子(アーチェリー)
高瀬 惇司(アイスホッケー)
服部 友香(水泳)
東 勇渡(卓球)
堀 優美(卓球)
田口明佳莉(バスケット)

スピードスケート・ジャパンカップ ランキングポイント



第4戦の1500mを制した近藤

近藤が1位

1000m 1500m
ジャパンカップスピードスケート競技会の最終戦(第4戦)2月7・8日、軽井沢風越公園スケートリンク)が終了し、ランキングポイントで近藤太郎(経営2・駒澤大)が1000m、1500mでともに1位となった。

卓球・サファイール国際

卓球のサファイール国際冠を手にした。オープン(2月18日)22日、スウェーデン・エーレブレで田添健汰(商1・帝京高)が3位に入賞した。(中軍友希・経済2)

男子単U-21 田添がV

ブルガリア国際大会で優勝を果たし、社会人も含むエリート部でも3位の好成績をあげた。田添は初戦から破竹の勢いで勝ち進んだが、山場は準々決勝に訪れた。日本人同士の戦いとなった碓塚将人(JOCエリートアカデミー)との対戦は、フルセットまでもつれ込む接戦。その勢いを決勝まで持ち込み、栄玉栄高)が2位となった。

武田が2位

ブルガリアで行われたレスリングのペトコ・シラコフ&イバン・イリエフ国際大会の男子グレコローマンスタイル75kg級で武田光司(経営1・埼玉高)が2位となった。

テニス・関東学生新進選手権

女子単 坂本が優勝
関東学生新進テニス選手権女子シングルス決勝が2月20日、慶大日吉・複合テニスコートで行われ、坂本明香(商2・秀明)が優勝を果した。最終は涙を浮かべ、すぐ後に仲間のものと歩いた坂本(斉藤葵写真)



優勝した坂本

決勝の第1セットは緊張からか、思うようなプレーができずに先制を許す。気持ちを切り替えて臨んだ第2セットでロングラリーを制し、流れを

リーダーズ キャンプ開催

第51回専修大学リーダーズキャンプ(3月3・4日、静岡県熱海市・熱海後楽園ホテル)が行われた。写真は、1日目はアメリカンフットボールの社会人リーグで活躍後、メンタル・キャリアアコチを務めている(株)バザールの元野勝広氏が「最強のチームビルディング」と題し、団

バスケット創部 70周年記念式典

バスケットボール部の創部70周年記念式典・祝賀会が3月7日、港区の東京プリンスホテルで行われ、OGが出席した。祝賀会は今年度で退職する新関光一総括の慰労会も兼ねて行われ、出席者たちは思い出話で盛り上がる。この日は、これまでの労をねぎらった。新関総括は「歴史を作ることでできるのは現役だけ」と選手に檄を飛ばした。(伊東祐佳・文2)

おわび

2月号12面「日本学生水泳競技選手権」アイスホッケーの写真説明で、「先制点を挙げた東山」とあるのは、「ゲームキャプテンの塚田京法4・長野工高」の誤りでした。おわびして訂正します。(新井健太郎・文2)

全日本選抜で2選手が活躍

デンソーチャレンジャーズカップサッカー広島大会(2月26・28日)で、全日本大学選抜チームに選ばれた専大の福島春樹(法3・静岡学園高)、萩間大樹(経済3・瀬谷高)が優勝に貢献した。また、北出雄星(経済3・日大鶴ヶ丘高)、小口大貴(経済2・生田東高)、佐藤尊樹(経営2・磯辺高)が選出された。関東選抜Aチームは4位だった。

3人がプロに挑む

(鷲尾凌平・経済2) DF河津良一(文4・作陽高)がJ2シエフユナイテッド市原・千葉へ、MF星野有亮(経済4・静岡学園高)が同じくJ2のツエーゲン金沢に入団した。また、MF後藤京介(法4・日大豊山高)のモンテネグロ1部リーグのFKモグレン入団も決まった。(阿部秀祐・文2)

東都大学野球春季リーグ戦日程

Table with columns for date, team, and time. Includes dates from 4月7日 to 5月20日 and various university abbreviations like 専大, 国大, etc.